

# ライトダウン2010 in 我孫子 イベント報告

平成22年9月7日  
NPO 住み良いまちづくり研究所  
代表 浜崎慶子

(第一部) 環境省では、2003年より温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼び掛ける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を実施してきました。これは、ライトアップに馴れた日頃生活の中、電気を消すことでいかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えていただくことを目的としたキャンペーンです。その意識調査について、我孫子市を中心として調査した結果をご報告いたします。

## 【アンケート回答者 居住地】

我孫子市・鎌ヶ谷市・取手市・佐倉市・利根町・松戸市・印西市・守谷市・牛久市・常盤市・千葉市・荒川区・葛飾区・竜ヶ崎市・河内町・北相馬郡・稲敷市・船橋市・つくばみらい市・阿見町・つくば市・八千代市・足立区・ふじみ野市・日野市・稲城市・小平市・藤沢市・練馬区・昭島市・町田市・板橋区・杉並区・三鷹市・和光市・調布市

## 【所属団体別アンケート回答】

### ライトダウン運動を知っていますか？

我孫子市役所 : 312名中・・・はい 261名・いいえ 51名

施設のライトダウン：照明・PC機器の節電等・手賀沼課の主導によるあびこエコ・プロジェクトによる下記ページを参照  
あびこエコ・プロジェクトⅡ

<http://www.city.abiko.chiba.jp/index.cfm/19,17496,50,752.html>

2008(平成20)年度温室効果ガス排出量等調査結果 のページ

<http://www.city.abiko.chiba.jp/index.cfm/19,17496,c,html/17496/20100520-171109.pdf>

我孫子市教育委員会 : 97名中・・・はい 81名・いいえ 16名

施設のライトダウン：照明・PC機器の節電等

我孫子市社会福祉協議会 : 15名中・・・はい 15名

施設のライトダウン：①本館 ②移送サービス事務所 ③西部福祉センター ④福祉ショップ&軽喫茶の照明・PC 機器の節電等

市議会議員：2名中・・・はい2名

かっぱ祭り実行委員会：13名中・・・はい8名 いいえ5名

我孫子南まちづくり協議会：9名中・・・はい9名

我孫子市商栄会店舗：25店舗中・・・はい25店舗

① イトーヨーカドー我孫子店：全社あげてのライトダウン(看板・ネオン消灯)

② マグドナルド我孫子店：全社あげてのライトダウン(看板・ネオン消灯)

③ (株)野田電機：ライトダウン協力(廊下消灯)

④ 生活環境ワーカーズ悠：CO2削減の意識が高く、通年実行済み

⑤ その他商栄会を中心とした協力店舗：チラシ、ポスター掲示、店舗早閉め、照明節電

弥生軒(○・点灯)・(有)我孫子設備(○・閉)・生活協同組合我孫子生協(○・閉)・文化堂(○・閉)・きらく(○・点灯)・コビアン(○・点灯)

三谷屋(○・点灯)・ムサシノ不動産(○・閉)・J.com.(○・閉)・ヤブサキメガネ(○・閉)・カーヴウかくれや(○・点灯)・五味メガネ

小柳商店(○・閉)・勇鳳(○・照明節電)・ドトール(○・閉)・アルト(○・閉)・すわま(○・閉)・晃南(○・閉)・田中カイロ(○・点灯)

千葉銀行(○・閉)・プレッツア(○・点灯)

ライオンズクラブ関係者：13名中・・・はい11名 いいえ2名

我孫子の景観を育てる会：27名中・・・はい27名

学校関係者：15名中・・・はい9名 いいえ6名

NPO 法人アシラネ：8名中・・・はい8名

並木地区連合会並びに並木自治会：16名中・・・はい13名 いいえ3名

**我孫子北まちづくり協議会** : 5名中・・・はい5名

**一般の方** : 23名中・・・はい23名

### **C02 削減のための行動**

- ・ 電力（節電・消灯・暖房 20℃・冷房 28℃・省エネ家電の購入・LED 照明へ移行・エコキュートの導入・太陽光発電の導入）
- ・ 移動手段（徒歩・公共機関・自転車の利用・オートバイ通勤・アイドリングストップ・エコ運転・ノーカーデー導入）
- ・ 3R（家庭ごみの減量・分別・リサイクル・リユース品の購入・マイバック・マイ箸）
- ・ 環境（ウォームビズ・すだれ・緑のカーテン導入・緑化運動・ペアガラス導入）

### **この運動を広げていく為の手段**

- ・ メディアを通じて徹底 PR
- ・ 全国一斉イベントの開催
- ・ 地域ライトダウンイベントの工夫（アコースティックバンドのライブ/「蛍との触れあい」/村川別邸の蝋燭イベント支援/アビスタの屋上にキャンドルカフェ開く/けやきプラザの窓にライトで絵を描く/ライトダウンのマスコット作成）
- ・ 公共機関が LED 照明・太陽光発電等の導入の結果、消費電力が抑えられた場合、それと同額の補助金を出す
- ・ 個々の意識の向上（知識を図る/幼稚園・小学校や中学校での教育強化・家庭教育での話し合いによる強化）
- ・ ライトダウンの回数を増やす（自治体単位で実施を義務付ける・モデル地区を作る）
- ・ 江戸時代の日（無電気の日を設定してみる）
- ・ 公共の交通網充実・サマータイム導入
- ・ エコポイント制/エコ補助金導入延長
- ・ 地産地消の導入（リユース・リサイクル品を地元で生産、利用できる拠点を作る・地元生産商品への非課税）
- ・ 森林ボランティアに参加し、森を守る
- ・ 手賀沼課の指導への期待
- ・ NPO 住み良いまちづくり研究所のライトダウン推進運動の更なる活発化

(第二部) 7月1日常磐線我孫子駅前のけやきプラザのエントランス広場において、ライトダウンPRを目的として『竹燈籠の宵』と題し、竹1200本にロウソクとLED照明を使ったイベントを行いました。以下はそのイベントに協力を頂いた方々の模様を御報告いたします。

**NPO 住み良いまちづくり研究所のライトダウン in あびこ報告**  
**浜崎慶子**

ひとりひとりの手で。

地球の温暖化が進んでいます。

ひとりひとりが手を動かすことにより、

CO2を削減できます。

私たちができることから考えてみませんか？

**ライトダウンキャンペーン in あびこ**

7月1日(木) 17:00~21:00

けやきプラザ前広場・JR我孫子駅南口ロータリー

**『竹燈籠の夕べ』**

アピースカイトワーミニ(約4m)他

1000本の竹燈籠のメッセージをご覧ください

☆ ご協力いただける方は ☆

☆ NPO 住み良いまちづくり研究所 浜崎まで TEL04-7182-8189

7月1日に、ライトアップ施設や家庭の電気を消すように呼びかける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を実施しています。市民としてその運動に参加することで、地球温暖化防止の大切さを多くの方に知っていくことを目的として実施しています。

主催：NPO 住み良いまちづくり研究所

後援：我孫子市 我孫子市教育委員会 我孫子市社会福祉協議会 かつば祭り実行委員会  
 我孫子市商工会

**ライトダウン・キャンペーン 2010**  
 一人ひとりに、とっておきの夜が待っている。

**わたしたちは地球温暖化防止のため、  
 “CO2削減/ライトダウン・キャンペーン”に参加します。**

6月21日(月)と7月7日(水)の夜8時から10時までの2時間、全国各地のライトアップ施設とともに、全国一斉ライトダウンに参加します。ご理解をおかけいたしますが、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

キャンペーン期間	2010年6月20日(日)~7月7日(水)	
特別実施日 (土・日・祝)	夏夏ライトダウン(7時~10時) 6月21日(月)夜8時~10時まで	七夕ライトダウン(7時~10時) 7月7日(水)夜8時~10時まで

今年の6月20日(日)~21日(月)は、東京都が地球温暖化防止のためにライトアップ施設や家庭の電気を消すように呼びかける「CO2削減/ライトダウン・キャンペーン」を実施します。特に6月21日(月)と7月7日(水)の夜8時~10時は、全国一斉ライトダウンが実施されます。わたしたちは、このキャンペーンの開催に賛同して実施決定を表明いたします。

ライトダウン期間中も変わらず愛用いたします。

チャレンジ  
 未来が変わる、  
 日本が変わる。  
 25  
2010年7月1日現在

ひとりひとりの手で。

地球の温暖化が進んでいます。

ひとりひとりが手を動かすことにより、  
CO2を削減できます。

私たちができることから考えてみませんか？

### ライトダウンキャンペーン in あびこ

7月1日(木) 17:00~21:00

けやきプラザ前広場・J&R我孫子駅南口ロータリー

#### 『竹灯笼のタペ』

アピースカイトワーミニ(約4m)塔

1000本の竹灯笼のメッセージをご覧ください

☆ ご協力いただける方 ☆

☆ 町0住み良いまちづくり研究会 飯崎まで ☎04-1159-1100

7月1日(木)は、アピースカイトワーミニに約4mの塔を建て、約1000本の竹灯笼を飾ります。この竹灯笼には、CO2削減のメッセージが書かれています。このメッセージを、ご協力いただいた方へお渡しします。このメッセージを、ご協力いただいた方へお渡しします。

主催 町0住み良いまちづくり研究会  
後援 我孫子市 我孫子市教育委員会 我孫子市社会福祉協議会 我孫子市商工会  
協賛 我孫子市商工会

# ライトダウン・ キャンペーン 2010

一人ひとりに、とっておきの夜が待っている。



わたしたちは地球温暖化防止のため、  
“CO2削減/ライトダウン・キャンペーン”に参加します。

6月21日(月)と7月7日(水)の夜8時から10時までの2時間、全国各地のライトアップ施設とともに、  
全国一斉ライトダウンに参加します。ご遠慮をおかけいたしますが、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

キャンペーン期間	2010年6月20日(日)~7月7日(水)	
特別実施日 (全国一斉実施)	夏夜ライトダウン(夏は...) 6月21日(月)夜8時~10時まで	七夕ライトダウン(七夕...) 7月7日(水)夜8時~10時まで

今年の6月20日(日)~7月7日(水)は、東京電力が地球温暖化防止のためにライトアップ施設で電気を消すという活動が実施されている“CO2削減/ライトダウン・キャンペーン”期間です。同じ  
6月21日(月)と7月7日(水)の夜8時から10時までは、全国一斉ライトダウンが実施されます。わたしたち  
は、このキャンペーンの活動に参加して地球温暖化防止に貢献します。

ライトダウン期間中も変わらず営業いたします。

チャレンジ  
25  
未来が変わる。  
日本が変わる。  
3.11以降の活動

ひとりひとりの手で温暖化する地球を救うために何ができるのだろうと自問自答した時、日常生活の中で、手で電気をまめに消すことなどの他に、成長が速くて、処理に困る竹の生命力を環境保全のプラスに変える用途を探りながらかつ、まちの活性化に役立てるイベントを行おうと呼びかけることにしました。

# “あびこ竹宵” ~あびこのまちで ところ窄らぐひとときを~

手賀沼の畔の静かなまちのたたずまいを一瞬に、幻想的な空間に変えてしまう蠟燭光の魔術！ “竹宵”



この光景が、手賀沼周辺の自然回復（農業、森林、水）の運動の起点となる！！



(うすき竹宵のホームページより)

■実施日時：平成22年7月1日 17時～21時 けやきプラザ エントランス広場にて

■後 援：我孫子市・我孫子市教育委員会・我孫子市社会福祉協議会・  
我孫子市商工会・かっぱ祭り実行委員会

□お問い合わせ：NPO 住み良いまちづくり研究所 浜崎元衛

E-mail Hamasaki [m-hamasa@agate.plala.or.jp] 電話04-7182-8189

そこでスタートした作業が、竹林からの竹伐。多くの方々のご協力のおかげで、第一弾の 1000 本が達成できたのですが、特に柏市沼南町の森かずお様や、我孫子市白山の船戸の森の会の皆様からの快い竹の提供があったからです。そうして竹伐りの際の指導をしてくださった柏市の鈴木健弘様、どうも有難うございました。



鈴木健弘様から後日メッセージが、友人の豊田敏則様に届きました。ご紹介すると、

『どうもありがとうございました。固くて、重くて、嵩張る竹を相手に何かをする時、思いがけない予想もしない面倒なことがいろいろ起きると思います。

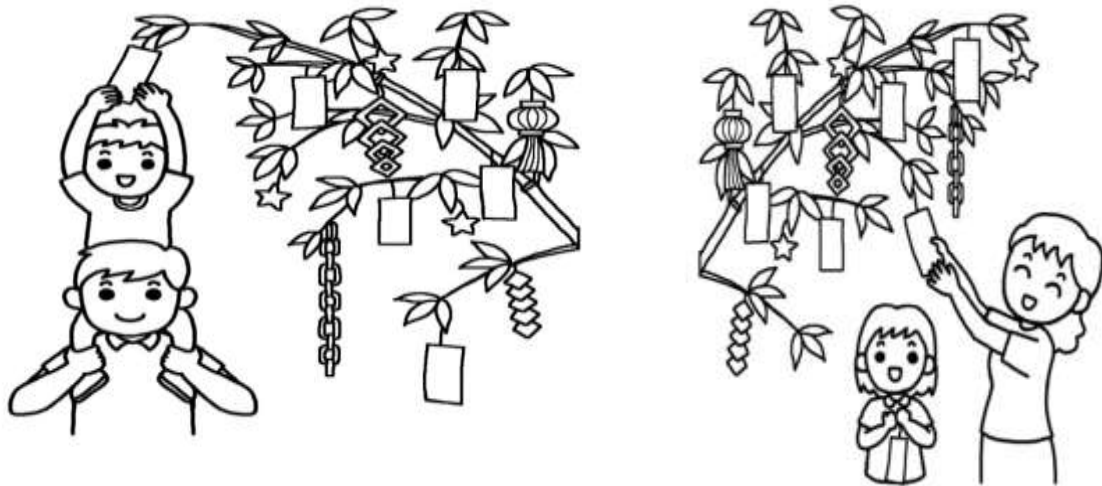
それらをすいすい処理して行くにはそれなりのノウハウと腕力が必要かと思います。今回のイベントは、竹を料理して行くには十分な中味のあ  
るテーマだと思います。どんどん進められることを期待します。竹はいろんなところで厄介者となっています。地主さんとの連絡が付きさえすれば材料は十分あると思います。これを通じて何がしか稼げればいいですね。』

ボランティアの皆様に関心したのは、竹を伐る時の支え台や、笹を束ねて括るのに便利な台、面取り用の手製小物などを器用に作って、素人が竹を処理しやすいよう工夫して予定時間より早く、竹伐りを終わらせる事ができたことです。

竹のカットについては、ふれあい工房の技術アドバイザーの若林<sup>ひろむ</sup> 瀬 様という優れた元宮大工の方の御世話にもなりました。深く御礼申し上げます。

この方は、「昔は道具が揃っていなくても、法隆寺のような御寺を建てられたのだから、頭を使えば大抵どんなことでもできる」と、平面版に、三角や四角の板を取り付け、竹に対して同じ角度の切り口ができるように工夫なさいました。昭和天皇の棺を作られた方だそうで、そのような優れた技術をお持ちの方とお会いできて幸甚でした。

具体的なイベントとして、小さな子ども達にも竹に親しんでもらうための試みも行いました。まずは、大きな笹を1本広場の片隅に飾って次のような呼びかけをしました。



みんなは、ライトダウンキャンペーンという言葉を知っているかな。

地球温暖化防止のために、日常生活の中で、電気を消して皆さんが普段どれくらいたくさんの照明を使って生活しているかをかんがえ、地球温暖化問題について考えようという運動なんだ。

その一番わかりやすいのが、皆さんで集まって、イベントをやること。外で3～4時間すごすと、それだけみなさんのいえのでんきゅうを、つかわなくてもすむものね。



今年は7月1日(木)にけやき広場プラザで暗くなったら竹筒にろうそくを入れ、玩具のLEDを入れて、あかりをともしようとかんがえています。まだ明るい5時位から、6本の笹にみんなでねがいごとのたんざくをかいたり、天の川から見えるほどにきらきら笹をかざりましょう！！

→大きな笹に願い事を飾る試みは、子供連れのご父兄にも大好評で、笹一杯の願い事を書いてもらいました。塗り絵をしてくれた参加者には、玩具LEDとか、ペンタワールドから提供された抽選品の筆立てのプレゼントがあり、皆大喜び！！

子供さんたちの楽しい笑顔が、イベントを盛り上げてくれました。

同時並行で、湖北台の鈴木明子画伯の絵画教室の生徒さん方に、竹筒へ絵画を描いてもらいました。120本の真竹に、自由画を描いてもらい、千本の竹灯籠の一角を担って頂きました。御両親も、わが子の絵が、竹筒の様々の光の揺れの中で調和を保っているのを見て、とても感激して下さいました。勿論子どもたちも熱心に自分の作品に見入っていました。中には「私たちも竹に絵を描きたかった」と声を上げる子供さんたちもいて、何時かそういう子供さんたちの願いも形にしたいと、鈴木画伯と話したものでした。

我孫子市市制40周年記念行事  
NPO住み良いまちづくり研究所

# ライトダウン!

2010年ライトダウンIN我孫子では、CO2削減のための楽しいイベント「あびこ竹筒」を企画しました!!!

日時:2010年7月1日(木曜)午後5時~9時  
場所:JR我孫子駅南口ロータリー・けやきプラザ広場

参加  しませんか!!

1. 竹筒の準備 2. 竹筒に絵を描く 3. 竹筒を飾る 4. 竹筒を提げる

NPO住み良いまちづくり研究所のマスコットキャラクターである

**バン子ちゃん**がお誘いをかけたチラシも好評でした。

当日は80歳という高齢の豊田敏則様と82歳の竹内阪蔵様を中心としたペンタワールドの人たちがJR我孫子駅南口のロータリーに3.6mの背高のっぼの竹灯籠を飾り、広場の階段に、鳥をカービングした竹筒やソーラー灯籠を飾り青年の心意気を失っていない高齢者の元気を見せてくださいました。



(右が背高のっぼの竹灯籠)



(階段に咲いた竹灯籠の色々)



(抽選品の筆立て)

[へーイボス行くぜ] の掛け声勇ましく広場の皆は勿論、帰宅する人々の注目を集めたのが、Alawo dudu (アラウォ・ドウドウ) という太鼓バンド。「黒い肌」という意味合いを持つ言葉だそうだが、リーダーの七條氏を見た人は、そのネーミングの的確さに思わずニやり！！場を一周したので、後をぞろぞろついて踊った人もいたのだよ！！

竹宵の映像、太鼓を中心にしたものをご覧頂ければ幸甚です。(youtube)

<http://www.youtube.com/watch?v=RTw6YXd6oOw>



美女を囲む面々は、昔取った杵柄でのエレキによるカントリーミュージックを演奏。昔懐かしい曲を口ずさむ人もいましたが、圧巻は、「お嫁においで」や、「千の風」「知床旅情」を会場全体で合唱したこと。かつてこの名曲に酔いしれたことのある聴衆に対するサービス十分でした。



突如、広場に出現した御花畑は、「寺嶋トシエとハワイアンズ」。  
長寿大学や、地域の老人クラブで元気な指導を行っているのが  
中央の赤い花を飾っている人。年齢なんぞは吹き飛ばせと  
社交ダンスにカラオケにと右や左の大活躍！率いるこのグループの  
合言葉は「ただいま青春まっさかり」・・・



灯を最初につけて回ってくださったのが、「我孫子の景観を育てる会」の生みの親である吉澤淳一氏をはじめ会のボランティアの面々。  
着火するたびに揺らぎの世界が出現する不思議・・・  
思わず友人に見に来てよと電話する人もいました。この日は暑くもなく寒くもなく、ビル風もない、絶好の竹宵日和となりました。  
この会のメンバーである岩崎昭氏がユウチューブを作成してくださいました。  
下記をクリックして頂ければ幸甚です。

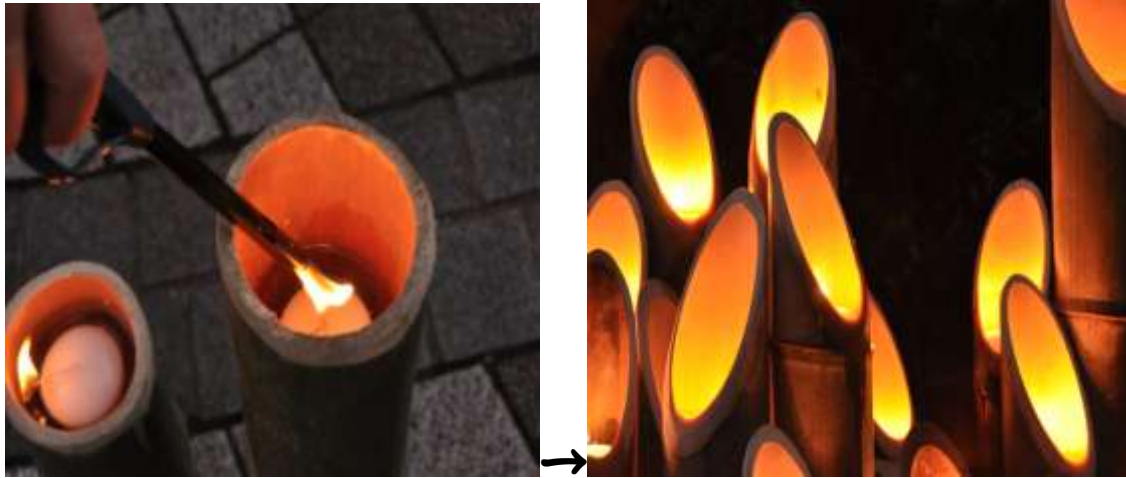


[ライトダウン in 我孫子 \(←クリックすると動画サイトへ飛びます\)](#)



[撮影・編集 / 岩崎 昭 様](#)

[制作 / A.I.Studio](#) 



闇が重なって来るにつれて、かっぱ音頭の人たちが息を吹き返しました。白い浴衣の人たちにご注目ください。今年民舞連の佐藤繁子女史がデザインした水の流れを渡る元気なかっぱ。かっぱ祭りの前にお披露目してくれました。どの人も、普段の数倍も女振りが上がったと思いませんか？



青竹に本当にカエルがいたのですよ。撮影者は、中央学院大学4年生の森逐人君。彼がカメラを向けている間、カエルはおとなしくモデルになってくれて、撮影が終わったとたんぴょんと竹から飛び降りたそうな。嘘のようなホントの話。

フィナーレを飾ったのが、大阪から駆け付けてくれた小羽勝也氏。

さようならが名残惜しいひと時でした。



後援承認：我孫子市役所・我孫子市教育委員会  
我孫子市社会福祉協議会・我孫子市商工会・カップまつり実行委員会

賛同団体及び個人名：我孫子市国際交流協会・商栄会・鈴木明子絵画教室・船戸の森の会・  
ライオンズクラブ・生活協同組合我孫子生協・  
アビイアニマ・アーシアンショップ柏・ペンタワールド・  
グリーンフィールズ・和寿会・HOLA会・弥生軒・我孫子設備・野田電機・イトーヨーカドー我孫子店  
マクドナルド我孫子店・我孫子南まちづくり協議会・我孫子北まちづくり協議会・我孫子の景観を育てる会・  
寺嶋トシエとハワイアンズ・八日会・

後日、我孫子のジャパンバードフェスティバルのブログに載った竹筒が、昼とは違った表情を見せているので  
興味が沸きました。ここに紹介しておきます。

### 竹灯籠に浮かびあがる鳥たち テーマ



7月1日、JBFの玄関口とも言える我孫子駅南口側にある けやき  
プラザ エントランス広場で「ライトダウン in 我孫子」が行なわれました。  
その催しのひとつとして飾られたのがこの竹灯籠です。  
ろうそくや LED の明かりが灯された灯籠の数は 1,000 以上ですって！

うん、そりやもう“鳥のまち我孫子”ですからネ。  
当然、いくつもの鳥の姿が幻想的に浮かび上がっていたそうですよ☆



(第三部) 第一部のアンケートの中で、何に取り組めるのだろうかという問いかけに対しての今年のまとめを行ってみたいと思います。アンケートを、紙面上のまま終わらせるのではなく、現実にたとえ一歩でも実現する事こそ意義があると考えます。

①この運動を広げていく手段として地域ライトダウンイベントの工夫をすべきという声が上がっていた。

これについてはNPO 住み良いまちづくり研究所では、竹宵を進めていきたいと思う。竹林は、生命力が強く、孟宗竹など1年間で高さ20メートルにも達するし、所有者の高齢化による手入れの重荷を逆に、地域の資源に変える事につなげていく。

②沢山の人々が竹宵に関わることで結果的には、自然に森林ボランティアを増やす効果があり、森を守ることに繋がっていく。

③竹をどのように利用していくかー竹炭や粉にして肥料にするとかといった大人の観点からだけでなく、子どものための竹の楽器作りができないか検討することにより、子どものための教育につなげていくことができる可能性があると思う。

④ライトダウンの回数を増やすということでは、今回NPO 住み良いまちづくり研究所では、WCI(ワールドキャンパスインターナショナル)という非営利の教育団体とタイアップして、世界の若者を我孫子に招聘した時に、二つの竹宵を体験させた。一つは8月25日の近隣センター“こもれび”での竹宵、二つ目は、かっぱ祭りでの手賀沼公園での二千本の蠟燭と玩具LEDによる竹燈籠だ。風という課題もあるが、何回も体験を重ねていく中で、段々モデル地区になろうという地域が出てくることを希望したい。

茨木市に本部を置くLLP プロローブグループ代表の浅野喜久男氏は、この報告書をLLP プロローブグループの関係者だけでなく、NHK 大阪放送御中；環境省・経済産業省・文部科学省事務局御中；自民党本部御中；「チーム・マイナス6%」事務局御中；チャレンジ25事務局御中；国民の広場事務局御中；茨木市総務部秘書課御中；茨木市環境政策課御中等にも送られました。小さな1歩かもしれませんが、我孫子市という自治体が、日々の環境保全の努力を重ねている様子を、市民の目を通してウォッチする中から何か必ず生まれてくると確信しています。というのは、今年のリフトダウンイベントは、アンケートと竹宵イベントの2本立てを去年より拡大して行いました。その中で、我孫子市や我孫子市教育委員会がいかに真剣に環境問題に取り組んでいるかについての理解を深めることができましたし、市民の方々が環境問題と合わせて、いかに我孫子を愛しているかを認識することができたからです。

以上